

インドネシア訪日旅行希望者にはモデルルートの提案が効果的 ～「Japan Travel Fair 2015 Autumn & Winter」に参加～

シンガポール事務所

インドネシア訪日旅行希望者に観光 PR する際は事前に複数のモデルルートを用意しておき、相手の反応を見ながら観光情報や観光ルート案を案内すると効果的です。

「〇月に日本に行こうと思っているのですが、どこが良いですか?」、「〇月は桜（もしくは雪）を見ることができますか? 見られる場合は、どこに行けば良いですか?」

自治体国際化協会シンガポール事務所の職員がジャカルタのショッピングモールで開催された日本政府観光局（以下 JNTO）主催「Japan Travel Fair 2015 Autumn & Winter」に参加し、JNTO ジャカルタ事務所と連携して訪日観光 PR を実施したところ、このような質問を来場者から多く受けました。

ゴールデンルートはもちろんのこと、北海道、河口湖（富士山）や飛騨高山（白川郷）等のパンフレットを求める方も多く見受けられましたが、日本の観光情報を広く求める質問を受けることが多かったことから、モデルルートが書かれているパンフレットをお示しすると、非常に興味を持っていただきました。また、桜や雪など、自国と違うものを求める傾向も強いようです。桜の見頃の時期（季節の変遷）やおすすめの場所を写真等で紹介すると「ぜひ行ってみたい」とさらに積極的な質問が相次ぎました。その際、必ず聞かれるのが、「（おすすめの場合は）日本のどのあたりですか?」といった質問です。他ブースで出展していた自治体職員に聞いてみると、カウンターに日本地図をあらかじめ広げておき、地図や写真を交えて説明されているとのことで、場所や交通手段について聞かれることが特に多かったようです。



【フェア会場の様子】

なお、翌日に開催された JNTO 主催日本インドネシア観光交流拡大シンポジウムでプレゼンテーションされたインドネシア航空券販売旅行代理店協会によると、インドネシア人は自国では経験できない新しいことや日本特有の文化体験を求めている傾向が強いほか、家族旅行を好む傾向にあるとのことでした。

2014 年 12 月よりインドネシア IC 旅券を所持するインドネシア国民に対する事前登録制によるビザ免除が開始されたことにより、訪日旅行客数は増加傾向にあります。シンガポール事務所では、今後のインドネシア国民の訪日旅行事情に関する情報収集を継続し、動向を注視してまいります。

【参考】Japan Travel Fair 2015 Autumn & Winter について

概要	インドネシアからの訪日旅行者を更に増大させるため、ジャカルタのショッピングモールにて旅行フェアを開催。現地旅行社が訪日旅行商品の販売を行うほか、日本の地方自治体等共同出展者が多様な観光魅力、日本情報を発信。今回で4回目の開催となる。
会期	2015年11月20日(金)～11月22日(日) 10:00～22:00
開催場所	Central Park 1階 北西ジャカルタに位置し、スカルノ・ハッタ国際空港から車でおよそ30分の距離にあるショッピングモール。
主催	日本政府観光局(JNTO)
対象	一般消費者
入場料	無料
来場者数	約57,000人(3日間合計推計値、前年10月開催時:約45,000人) ※Central Park 来場者数 3日間合計461,370人
出展団体数	日本側出展団体19団体、現地旅行会社14社、航空会社3社

【参考】日本インドネシア観光交流拡大シンポジウムについて

概要	日本・インドネシア両国の査証要件緩和や観光戦略強化を踏まえ、地域間交流等を通じた両国の観光交流拡大について議論するシンポジウム。両国の観光行政、旅行関係団体、地方自治体首長による観光促進に向けたプレゼンテーションを実施。
日時	2015年11月23日(月) 午前
開催場所	シャングリ・ラ ホテル (インドネシア・ジャカルタ)
主催	日本政府観光局(JNTO)

旅行フェア出展等に関するお問合せ先：日本政府観光局（JNTO）海外プロモーション部 電話：03-3216-1902

(小暮所長補佐 東京都派遣)